伊勢原市制施行５０周年記念　日本遺産・企画展

浮世絵でみる 大山詣り

文化庁

令和3年度文化芸術
振興費補助金

関東平野と相模湾を一望する大山
太古より霊験あらたかな山岳信仰の山

祈願　*ー雨乞いー*

神仏習合・阿夫利神社と大山寺
石尊大権現
ー大漁・海上安全ー
ー武運長久　五穀豊穣ー
ー商売繁盛　病気平癒ー

大山、またの名を雨降山・阿夫利山



歌川広重『富士三十六景　武蔵野毛横浜』の一部

江戸時代・浮世絵の世界へ タイムスリップ！

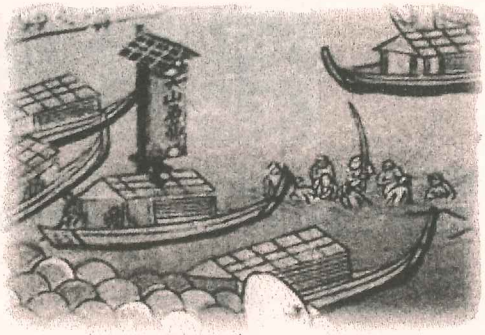


歌川国輝『大山参詣日本橋之圖（3 枚組）』慶応 2（1866）年

開催期間　2021．１１．７（日）～2022．３．２７（日）日曜日のみ開催（年末年始除く）
開館時間　10:00～15:00
会　　場　雨岳文庫資料館　（山口家住宅敷地内　〒259-1141 伊勢原市上粕屋 862-1）
主　　催　公益財団法人雨岳文庫 企画制作／雨岳ガイドの会
https://ugakubunko.org/ohp/
後　　援　伊勢原市教育委員会

● 隅田川で禊、日本橋をいざ出立！

隅田川に架かる両国橋の東詰めには大山参詣のために水垢離場があり、身を清めます。

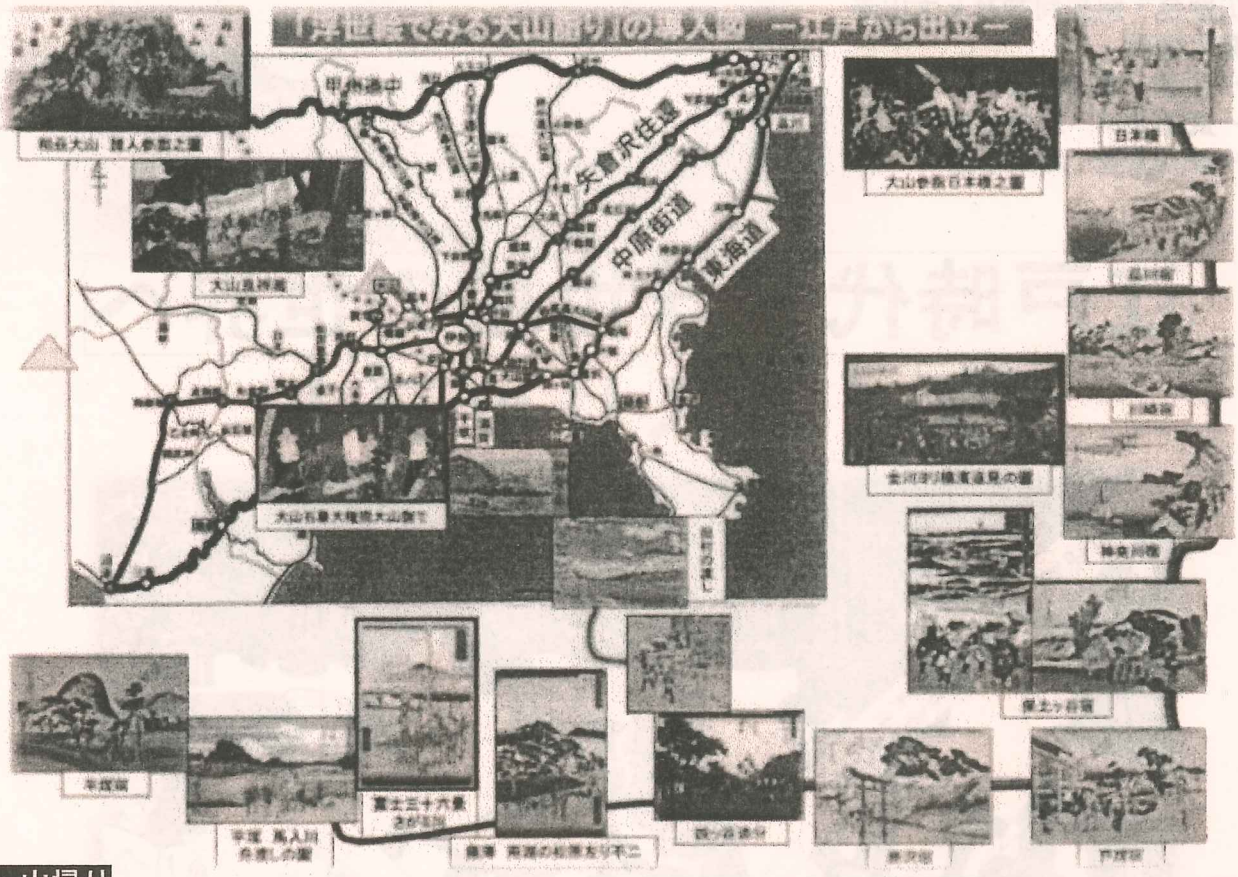


歌川貞房『東都両国夕涼之図』の一部

● 東海道五十三次を見聞しながら大山へ

75.3㎞の行程です。道中、主に次の浮世絵がご一緒します。
作者　歌川広重
①『東海道五十三次(保永堂版)』天保6年（1835）末頃
②『東海道五十三次　東海道つつき絵(画帖)』天保年間(1830～44)
③『東海道五十三次細見図會』弘化頃(1844～8)

保土ヶ谷宿で泊まり、翌日、藤沢宿先の四ッ谷追分で東海道から分かれ、田村通大山道に入ります。田村の渡しで相模川を渡り、伊勢原村へ向かいます。大山は目の前に迫ります。



● 山帰り

大山参詣を終えて、お山(大山)から帰ることを、山帰りといいました。

右絵は火消しの纏を模した土産を担ぐ役者絵です。纏は大山帰りの象徴でした。一行は藤沢四ッ谷の東海道に出たところのようです。



歌川豊国(3代)」
『東海道　藤沢平塚間
四ツ家　山帰り』

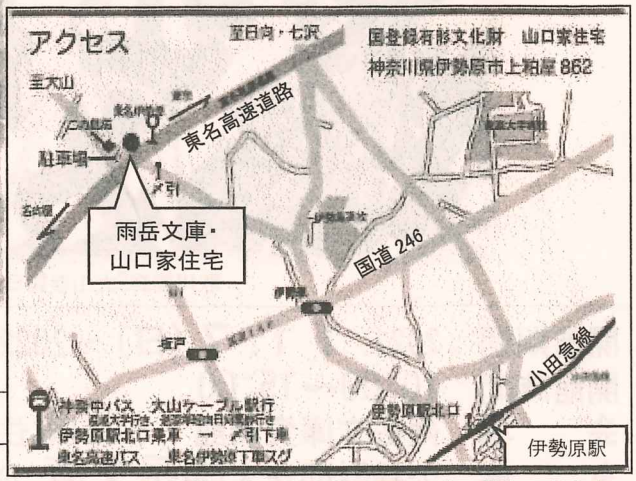
祈願　－脱　コロナ禍－

■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策を講じています

- 換気　・手指消毒　・マスク着用
- 三密回避(密閉・密集・密接)
- 入館者は5～6名程度
- 入館者の連絡先記録・体温37.5℃以上と風邪の方は入館をご遠慮下さい。

御協力をよろしくお願い致します。

注　コロナ禍状況により記載内容は変更となる場合があります。



交通

○伊勢原駅より神奈中バス：バス停「伊勢原駅北口」4番のりば～大山ケーブル行乗車。バス停「〆引(しめひき)」下車3分→「山口家住宅」
○車の場合：・国道246号線からは大山方面に向かい、東名高速道路を超えてすぐ。・新東名高速道路からは「伊勢原大山IC」下りて、石倉橋交差点を左折、東名高速道路のすぐ手前。
○東名高速バスの場合：「東名伊勢原」下車すぐ。